



あいさつっていいですねえ

昔、6年生の担任をしている時、ある女の子が次のような日記を書いてきました。

「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」
普段、このようなあいさつをみんなは普通に使っています。けれど、あいさつを言わない人、または言えない人がいるのを初めて私は知りました。

私は、4月ぐらいから井川さんのことを知っていました。その井川さんのことがとても気になったのは5月ぐらいからです。井川さんは、いつも愛犬のホワイトと一緒に散歩にきていました。

「こんにちは。井川さん、かわいい犬ですね。」

近所のおばさんが井川さんに声をかけていました。けれど、井川さんはニコリともせずにおばさんを見向きもせずに行っていました。おばさんは頭にきたせいか、井川さんの悪口を仲の良い人に言いふらしていました。そのせいか、今まで井川さんを気にしてあいさつしていた人たちも、次第にあいさつをしなくなってしまいました。

そこで、私は、前にも同じような経験をしたことがあるので同じ手（いつも会ったらあいさつをする）でやってみたのですが全く効果がありませんでした。次の方法は、井川さんの後をついて4、5回あいさつするということです。

ある日、習い事からの帰り道で井川さんに会いました。「あっ、そうだ。あの作戦を実行しなければ」と思い早速実行しました。

「こんにちは。」

「……………」

「こんにちは。」

「……………」

「こんにちは。」

「うるさい。」

「こんにちは。」

「うるさい！」

井川さんは逆に怒ってしまいました。けれど、井川さんが怒るたびにこっちも怒って、「絶対にあのがんこな考えをなおしてやる！」と怒ってしまうのです。だから、会う日会う日に井川さんにあいさつをしました。

あいさつをしてから2週間がすぎた頃でした。私が花だんを整理しているところへ井川さんがホワイトとやってきました。

「こんにちは。」

と私があいさつすると、井川さんは歩くのをやめてこっちをずっと見ていました。そして、「こ・・・こん・・・こんにちは。そのお花きれいですね。」と顔を赤らめて笑いながら話しかけてくれました。私はうれしくてうれしくて井川さんがきれいとはめてくれたアジサイの花や私の家で育てたナス・きゅうり・ミニトマト・レタスなどをあげました。

それからというもの、井川さんには明るい元気な声と笑顔があり、子どもやおじいさん、おばあさんに囲まれている姿を見るようになりました。そして、私は井川さんと一緒に犬の散歩に出かけるようになりました。出かける時の井川さんの口ぐせは、

「あいさつっていいですねえ。あいさつするだけで周りの人も自分も楽しくなれる。明るくなれるんですねえ。ぼくは千恵ちゃんに感謝していますよ。ありがとう。」

なのです。この口ぐせを聞いて私も井川さんに

「あいさつをしてくれてありがとう。」

という時があります。

あいさつって本当にいいですねえ。

この日記を書いた千恵さんは、本当にしっかりした子どもでした。私も「先生、そんなことでいいんですか。」とたまに叱られたことを記憶しています。それにしてもすごい行動力です。私たち大人が子どもに教え、伝えていくべきことを逆に身をもって教えてくれるのですから。あいさつがなかなかできなかった井川さんが「あいさつっていいですねえ。あいさつするだけで周りの人も自分も楽しくなれる。」と言っています。実際にあいさつをするようになってから初めて気づいたことであり実感でしょう。

先週の講話朝会で、前述の話をしました。城東小の子どもたちも、もっともっと自分たちから進んであいさつできるようになったらいいなと思います。それに、少々のことにはめげない、粘り強くチャレンジする千恵さんのようなパワーを身に付けたいですね。